



早期のピロリ菌対策で 胃がんリスクを減らそう

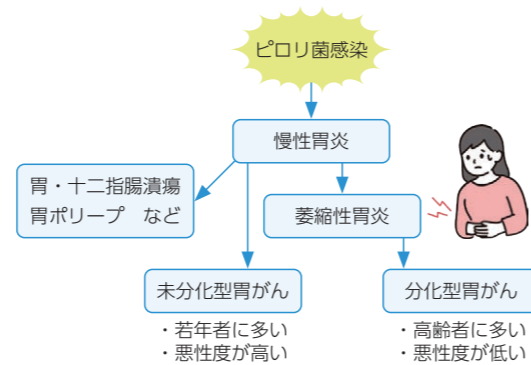
胃の粘膜に炎症を引き起こし、胃がんの原因にもなるピロリ菌。胃がんリスクを減らすために、積極的に検査し早期に発見し、除菌を行いましょう。

問 健康づくり推進課 / Tel.674-8800 ID 005469

胃がんなどを引き起こすピロリ菌

ピロリ菌に感染し、長く続くと慢性胃炎になります。無症状の人でも胃が萎縮性変化を起こして胃酸が出にくい状況に陥る人もいます。萎縮性変化が長期間続くと胃がんのリスクが高まります。また、若い人では萎縮性変化がなくても胃がんになるケースがあります(右図)。

また、がん以外にも胃・十二指腸潰瘍や胃ポリープなど、ピロリ菌を原因としてさまざまな病気を発症することが分かっています。



早期対策で胃がん発生リスクを低減

日本でピロリ菌に感染している人は少なくとも3,000万人と推定されています。ピロリ菌を除菌できれば、胃の萎縮を抑制し、胃がんの発症を大幅に減らすことができると言われています。早期に発見・除菌を行うことが重要です。

ただし、ピロリ菌を除菌した後でも、胃がんが発見されることはあります。定期的に胃がん検診を受けましょう(50代以降は無料で受けられます。詳細は右ページ)。

ミニ知識

ピロリ菌 感染経路はどこから?

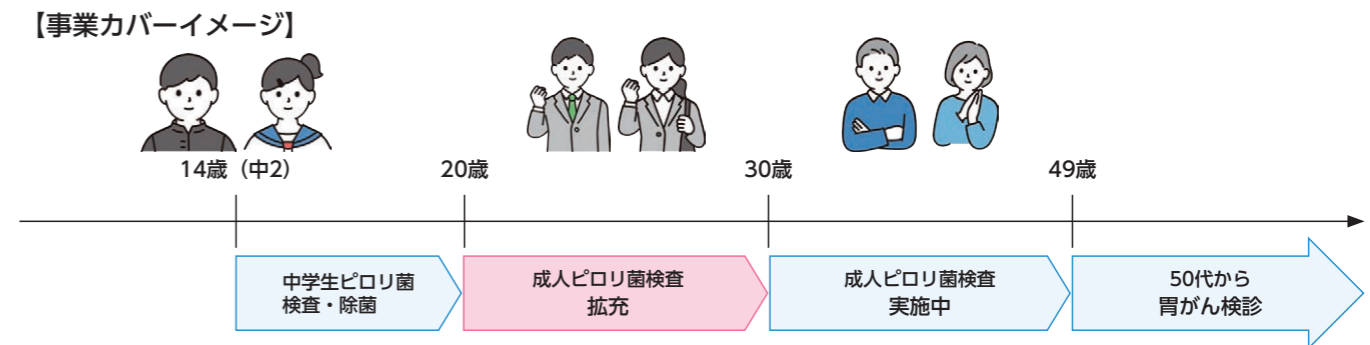
感染経路は諸説ありますが、主な原因は、乳幼児期における家族などからの経口感染であると考えられています。

感染が分かったら、抗生物質と胃酸を抑える薬を7日間服用することで除菌します。

市独自の施策でピロリ菌対策 4月から20代も対象に

市は、胃がん対策としてピロリ菌検査を勧めてきました。中学2年生を対象にした無料のピロリ菌の抗体検査と除菌は、平成26年度から継続して実施。30~49歳の

成人向けにも、検査を実施しています。4月からは新たに20代も対象に(下図)。切れ目のない胃がん対策で、早期対策をさらに強化していきます。



POINT

早期対策が有効なピロリ菌。未実施の世代をカバーし、早期対策を強化します。

—成人ピロリ菌検査概要—

問診、血液検査(ピロリ菌抗体検査)を行います。

対象 20~49歳の市民で、過去にピロリ菌検査・除菌治療をしたことがない人

日時 4/1(火)~来年3/15(日)

場所 市内の実施医療機関
※一覧は市ホームページをご確認ください

料金 500円

問合 健康づくり推進課 / Tel.674-8800

申込 直接、実施医療機関へ

ID 005461 50代からは無料の胃がん検診

50代以降は2年度に1回、無料で胃がん検診を受けられます。

個別検診の場合は、胃内視鏡検査か胃エックス線検査を無料で受けられます。直接、市内実施医療機関で予約してください。集団検診の場合は、日時などを確認し予約してください(本誌37ページに関連記事)。

がん患者アピアランスケア助成事業

ウィッグなど費用の一部助成 ID 116080 要

市は、がん治療によって外見(アピアランス)の変化を受けた人に、治療と就労・就学の両立を支援するため、ウィッグや胸部補整具などの購入費用の一部を助成しています。

右記①②の購入費用を各1回ずつ30,000円まで補助します。各対象品を複数点購入した場合、最初の購入日から1年以内であればその合計額で申請することも可能です。

- 対象** 次の全てを満たす人
- ・市に住民登録がある
 - ・がんと診断され、治療により頭部または胸部に外見の変化を受けている
 - ・助成対象品の購入から1年以内(明細が必要)
 - ・過去に同様の助成を受けていない

問合 健康づくり推進課 / Tel.674-8800

申込 随時 窓 郵 で

①ウィッグなど

- ・ウィッグ※1
- ・毛付き帽子

②胸部補整具※2

- ・補整下着※3
- ・人工乳房・乳頭※4

※1. 装着時に皮膚を保護するインナーキャップを含む
 ※2. 左と右のがん治療ごとに、1回ずつ
 ※3. 外見の変化を補うための機能が備わった補整下着、専用パッドが対象
 ※4. 乳房再建術などで体内に埋め込まれたものを除く

通院が困難な人へ 訪問歯科健診をご利用ください

ID 123851

通院することが困難な市民(一定条件あり)に対し、歯科医師と歯科衛生士が自宅に訪問して、問診、口腔内診査、健診結果に基づく歯科保健指導などを無料で行います。

対象 次の①②のいずれかを満たす15歳以上の人



- 以下の人は対象外**
- 歯科医院に通うことができる
 - 過去1年に歯科の診療・介護保険サービスを受けた
 - 同年度内に他の歯科健診制度を利用した

日時 4/1(火)~来年3/15(日)

料金 無料(年度内1回だけ)

問合 健康づくり推進課 / Tel.674-8800

申込 随時 G F で市歯科医師会事務局へ
Tel.676-0235 (平日10:00~14:00)、FAX672-0818 (24時間)

POINT

かかりつけ歯科医院を持ちましょう

お口の健康は、食べる喜び、話す楽しみに直接関わるだけでなく、全身の健康にも密接に関係しています。自分に合った口腔ケアを受けることはとても大切です。定期的な口腔ケアと健康管理を行うために、通院が困難な人も、まずは訪問歯科健診を受け、かかりつけ歯科医院を持ちましょう。



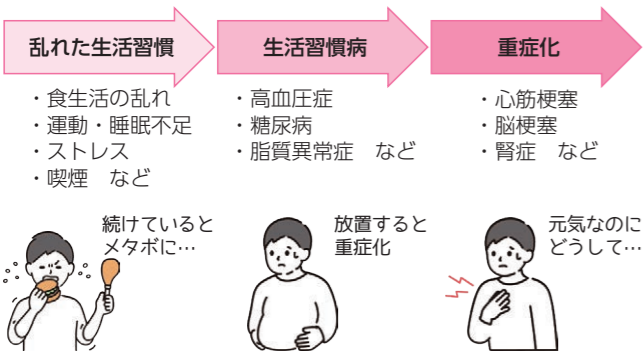
病気の早期発見・予防のために 特定健診を受けよう

ID 005478

特定健診はメタボリックシンドローム（メタボ）の発見と予防・改善が目的です。メタボが原因の生活習慣病は自覚症状がない場合が多く、放置すると重症化することもあります。

毎年、特定健診を受けて、健康チェックをしましょう。
問合せ 健康づくり推進課／Tel674-8800

【重症化までのイメージ】



診療時間外の連絡先

ID 037344

夜間や休日の急な病気やけがをしたときの連絡先を紹介します。
問合せ 健康医療政策課／Tel661-9330

●かかりつけ医が診療時間外の場合は…

高槻島本夜間休日応急診療所 Tel683-9999

●救急車を呼ぶべきか迷ったときは…

小児救急電話相談 Tel.#8000または、Tel.06-6765-3650
 19:00～翌8:00 (365日)

救急安心センターおおさか Tel.#7119または、Tel.06-6582-7119
 24時間365日対応



口腔保健センター／Tel.661-9105は4/29(祝)～5/6(休)が休みです

市国保の特定健診

対象 市国民健康保険に加入している今年度40～74歳（75歳の誕生日前日まで）の人
期限 来年3/15(日)まで
場所 集団健診の会場は毎号本誌に掲載（今号は右ページ）。個別健診は実施医療機関で

受診の流れ

- ①受診券を受け取る**
 受診券は4・5月に市から送付します
 ※4/2以降に加入した人は、申請が必要です
- ②受診する**
 個別健診（実施医療機関へ直接予約）または集団健診（保健センターなど）へ
- ③結果を受け取る**
 受診してから約1カ月後に、健診結果を受け取ります。メタボと判定された人は専門スタッフによる無料のサポートなど、特定保健指導が受けられます

高槻島本夜間休日応急診療所 春の連休中の診療時間		診療科目	
日時		内科・小児科・外科	歯科
4/26(土)	15:00～翌7:00	○	—
4/27(日)	10:00～12:00、 14:00～17:00	○	○
	19:00～翌7:00	○	—
4/28(月)	21:00～翌7:00	○	—
4/29(祝)	10:00～12:00、 14:00～17:00	○	○
	19:00～翌7:00	○	—
4/30(火)～5/2(金)	21:00～翌7:00	○	—
	10:00～12:00、 14:00～17:00	○	○
5/3(祝)～6(休)	19:00～翌7:00	○	—

※受け付けは各診療時間の開始30分前～終了30分前
 ※往診・再診・入院、義歯修理など技工が必要な処置は不可
 ※状況により受け付けと診療の順番の変更あり

帯状疱疹予防接種 高齢者への費用助成開始

ID 140841

4月から帯状疱疹の定期接種が始まります。費用助成対象者に接種券(はがき)を送付します。接種希望者はかかりつけ医に相談の上、直接委託医療機関に予約してください。

対象 次のいずれかの市民

- ①65・70・75・80・85・90・95・100歳の誕生日が4/2～来年4/1
- ②100歳以上
- ③接種日時時点で60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい程度が身体障がい者手帳1級に相当

※①は誕生日前でも接種可。③には接種券を送付しませんので、保健予防課までご連絡ください。市民税非課税世帯などには無料制度あり（要事前申請）

期間 4/1(火)～来年3/31(火)

問合せ 保健予防課／Tel.661-9332

生ワクチン 接種は1回。自己負担額4,500円

組み換えワクチン 接種は上記期間内に2回。自己負担額22,000円（2回分）

※1回目と2回目の接種間隔は2カ月以上



ID 005470

歯科健診を受けよう

お口の健康を保つことは、体の健康を維持することにつながります。1年に1回は歯科健診を受けましょう。

内容 問診、口腔内診査、健診結果に基づく歯科保健指導など

対象 市内在住の18歳以上または妊産婦

期間 4/1(火)～来年3/15(日)

料金 無料（年度中1回だけ）

問合せ 健康づくり推進課
 Tel.674-8800

ID 002804

肉の生食による食中毒に注意

鶏、牛、豚などの肉や内臓には、食中毒の原因となる病原体が付着している可能性があり、鶏の刺身など生や加熱不十分な肉料理で、食中毒が発生しています。発症すると、特に幼児や高齢者は重症化することがあります。次のことに注意して予防しましょう。

問合せ 保健衛生課／Tel.661-9331

- ☑肉や内臓は中心部まで十分に加熱する
- ☑生の肉・内臓に触れた手や調理器具はその都度洗う
- ☑肉や内臓の汁が他の食品につかないように冷蔵保存する
- ☑飲食店ではよく加熱された肉料理を選ぶ
- ☑焼き肉では、調理用のトングや箸を使い、食卓用の箸と使い分ける



ID 141853

風しん抗体検査・予防接種の費用助成

風しんの抗体検査・予防接種費用を助成します。検査・予防接種を希望する人は、かかりつけ医に相談の上、市ホームページなどで配布している一覧の委託医療機関に直接予約してください。

対象 次のいずれかの市民（未就学児除く）

- ・妊娠を希望する女性
- ・妊娠を希望する女性の配偶者・同居者
- ・妊婦の配偶者・同居者

※予防接種は、検査の結果が基準値以下の人

問合せ 保健予防課／Tel.661-9332

抗体検査 全額

予防接種 上限8,000円



人間ドックの補助制度

検査費用の一部を補助します。申請期限は受診日の翌日から2年間です。年度中各1回。

問合せ 国民健康保険課／Tel.674-7079

30～74歳の国民健康保険加入者 ID 002363

人間ドック、脳ドック、肺ドックが対象。受診後に申請が必要です。ただし医療機関に助成金受け取りを委任する場合は、受診前に申請してください。

助成 費用の8割（上限30,000円）

後期高齢者医療制度の加入者 ID 002374

人間ドックが対象。申請は受診後にしてください。

助成 上限26,000円

※健康診査と歯科健診は無料で受けることができます。対象者には4月下旬に受診券を送付します

ID 141851

成人用肺炎球菌予防接種の費用助成

成人用肺炎球菌の予防接種費用を助成します。接種を希望する人は、かかりつけ医に相談の上、市ホームページなどで配布している一覧の委託医療機関に直接予約してください。

対象 次のいずれかの市民

- ・接種日に65歳
- ・接種日に60～64歳で、心臓などの機能障がい障がい者手帳1級に相当

※過去に接種を受けたことがある人は対象外

料金 2,000円

※市民税非課税世帯などには無料制度あり（要事前申請）

問合せ 保健予防課／Tel.661-9332

健診・検診

ID 032781

問合せ 健康づくり推進課／Tel.674-8800、Fax.674-1551

	日時・会場	申込方法
特定健診(9:30～11:00)	5/14(水) ☆無料送迎バスあり	不要(要受診券・保険証など)
オプション	[単独受診可] 肺がん検診、骨の健康度測定(骨測定) [単独受診不可] ビロリ菌検査、肝炎ウイルス検診(B-C型)、前立腺(PSA)検査	当日
まとめて健診(午前)	5/22(木)・26(月) [必須項目] 特定健診 [選択項目] 肺がん、胃がん、大腸がん、ピロリ菌、肝炎、前立腺、骨測定	4/8(火)から ☎ ☎ ☎
すこやかドック(午前)	5/15(水) [必須項目] 肺がん、胃がん、大腸がんのうち少なくとも1つ [選択項目] 骨測定	4/1(火)から ☎ ☎ ☎
レディースドック(午前)	5/20(火) [必須項目] 子宮頸がん、乳がん [選択項目] 肺がん、胃がん、大腸がん、骨測定	4/7(月)から ☎ ☎ ☎
子宮頸・乳・大腸がん検診(午後)	5/9(金)★ [必須項目] 子宮頸がん、乳がんのうち少なくとも1つ [選択項目] 大腸がん、骨測定	★は保育あり 4/1(火)から ☎ ☎ ☎ (保育は ☎)
対象	[特定健診] 今年度40～74歳(75歳の誕生日の前日まで)で市国保被保険者に限る(☎の健診が対象) [がん検診] 肺・大腸=40歳以上、胃=50歳以上、子宮頸=20歳以上女性、乳=30歳以上女性、レディースドック=30歳以上女性 (胃・子宮頸・乳は前年度未受診者) [その他] ビロリ菌=20～49歳(500円)、肝炎=今年度40歳以上(B-C型各500円)、前立腺=50～89歳男性、骨測定=40歳以上(500円) (ピロリ菌・肝炎は過去未受診者)	※特定健診以外は市民だけ
備考	日時は「健康だより」「特定健診のご案内」に掲載▷無料送迎バスは「特定健診のご案内」に掲載▷会場の記載がないものは保健センター▷申込順▷費用記載なしは無料。ピロリ菌・肝炎・骨測定にも無料制度あり。対象は非課税・生活保護受給世帯(要事前申請)、70歳以上または後期高齢者医療制度に加入している市民▷保健センターの胃がん検診はバリウムだけ▷市内の実施医療機関でも受診可(骨測定除く)	

※申込手段の略や基本事項は23ページ参照